

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 4 区分

【発行日】平成 29 年 9 月 28 日 (2017.9.28)

【公開番号】特開 2017-77119 (P2017-77119A)

【公開日】平成 29 年 4 月 20 日 (2017.4.20)

【年通号数】公開・登録公報 2017-016

【出願番号】特願 2015-204172 (P2015-204172)

【国際特許分類】

H 0 2 M 3/155 (2006.01)

【F I】

H 0 2 M 3/155 W

H 0 2 M 3/155 C

【手続補正書】

【提出日】平成 29 年 8 月 21 日 (2017.8.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 3 2】

逆接続保護回路部 30 では、少なくとも二次側電源部 62 (低圧側の電源部) の端子が図 1 のように正規の接続状態であることを条件としてスイッチ素子 32A, 32B がオン状態になる。この場合、多相変換部 4 が動作していない状態では、スイッチ素子 32A, 32B のゲート電位が二次側電源部 62 の正極電位 (例えば 12V) と略同電位になり、ゲート電位がソース電位よりも高い状態で維持されるため、スイッチ素子 32A, 32B はオン状態で維持される。そして、ローサイド側のスイッチ素子 6A, 6B のソース、入力側コンデンサ 8A, 8B、出力側コンデンサ 10A, 10B は、いずれも基準導電路 78 と導通した状態で維持される。一方、二次側電源部 62 (低圧側の電源部) の端子が正負を逆にした逆接続状態である場合、スイッチ素子 32A, 32B のゲート電位が二次側電源部 62 の負極の電位 (例えば -12V) と略同電位になり、ゲート電位がソース電位よりも低い状態で維持される。このため、スイッチ素子 32A, 32B はオフ状態で維持される。スイッチ素子 32A, 32B がオフ状態であるときには、スイッチ素子 6A, 6B のソース、入力側コンデンサ 8A, 8B、出力側コンデンサ 10A, 10B は、いずれも基準導電路 78 と導通しない状態となる。更に、図 1 の構成では、二次側電源部 62 と出力側導電路 72 との間がオープン状態になった場合でも、スイッチ素子 32A, 32B はオフ状態で維持されることになる。